

宇治群島の昆虫相 ー鹿児島県本土および南西諸島との関わりー

坂巻 祥孝・津田 勝男
鹿児島大学農学部

要約

2005年5月10日および8月13-14日に鹿児島県笠沙町宇治群島家島において、昆虫相調査を行った。63種の鱗翅目、28種の鞘翅目、4種のゴキブリ目を得ることができた。これらのうち59種が本群島新記録種であった。特筆すべき知見としてはゴキブリ目ではルリゴキブリ属(ムカシゴキブリ科)の未記載種1種が発見できた。鱗翅目では、以下の4点の注目すべき発見があった。①ノメイガ類(ツトガ科)のなかではじめて潜葉性の幼虫を発見した。②5月の調査において寄主植物のない本群島に大量のコナガ *Plutella xylostella* (スガ科)が飛来していた。③クロキシタアツバ *Hypena amica* (ヤガ科) 大発生によるニオウヤブマオの食い尽しがおこっていた。④ウスコカクモンハマキ *Adoxophyes dubia* (ハマキガ科)が大発生していた。稿末にはこれまでに同定済みの昆虫群リスト(95種)を示した(Appendix 1)。

キーワード： 宇治群島、昆虫相、ルリゴキブリ属の1種、潜葉性ノメイガ類、コナガ大量飛来、大発生

Insect faunal survey of Uji Islands, Kagoshima Japan: faunal association between mainland of Kagoshima and Nansei Islands

SAKAMAKI Yositaka and TSUDA Katsuo
Faculty of Agriculture, Kagoshima University

Abstract

A insect faunal survey of Uttchima island in the Uji Iss. of Kagoshima prefecture was conducted on 10th May and 13-14th August in 2005. Sixty three species of Lepidoptera, 28 species of Coleoptera and 4 species of Blattaria are enumerated from

the Island (Appendix 1). Of them 59 species (3 of Blattaria, 16 of Coleoptera and 44 of Lepidoptera) were newly recorded from the Island. An undescribed species of cockroach, *Eucorydia* sp. was found. In lepidopteran fauna, we could detect three interesting phenomena. 1) Discovery of larval leafmining property in the subfamily Pyraustinae of the family Crambidae. 2) Although no host plants, Cruciferae, were found from the island in a visit of May, we found mass-migration of Diamondback, *Plutella xylostella*. 3) A noctuid moth, *Hypena amica*, and a tortricid moth, *Adoxophyes dubia* were outbreak and plagues, while they were seldom collected species in large number in the mainland of Kagoshima Prefecture.

Keywords: Uji Iss., insect fauna, *Eucorydia* sp., leafmining Pyraustin moth, mass-migration of Diamondback moth, outbreak

2005年5月10日および8月13-14日に鹿児島県笠沙町宇治群島家島において、昆虫相調査を行った。本群島においては大原(1984、1985)、江平(1994)、福田(2002)、廣森(2002、2003)、中峯(2004)らが合計で12目60科195種の昆虫の採集・目撃記録を報告している。今回2度にわたる調査の結果採集された昆虫種は、200種を超えるものと思われるが、専門家による精査が必要な種も多く、その大部分が未だ種名同定には至っていない。ただし、鱗翅目(63種)、鞘翅目(28種)、ゴキブリ目(4種)については、すでに著者らの手によってほぼ全種の同定が済んでいる。これらのうち59種が本群島新記録種であった。また、これらのうちゴキブリ目1種、鱗翅目蛾類2種は日本未記録あるいは未記載種であると推定された。本稿ではこれらのグループからいくつかの種を取りあげ、それらの注目すべき知見の概要をまとめた。加えて同定済みの昆虫群については採集記録をリスト化して稿末に示した(Appendix 1)。本論に入るに先立ち、5月の上陸の際にお世話になった鹿児島大学水産学部練習船南星丸乗組員の皆様、8月の上陸の際にお世話になった串木野市の漁船ハーバーワン船長、川崎吉信氏に厚く御礼申し上げる。

本調査で得られた特異な知見

1) リゴキブリ属(ムカシゴキブリ科)の未記載種の発見

5月10日の第1回目の調査にて、ムカシゴキブリ科ルリゴキブリ属の一種の幼虫が採集できた(写真 1a)。ルリゴキブリ属は主に東南アジア熱帯に分布するグループでわが国からルリゴキブリ *Eucorydia yasumatsui* Asahina 1種のみが

西表島と石垣島に分布することが知られている。その他のルリゴキブリ属は 12 種おり、そのほとんどが、南～東南アジア（インド、ビルマ、インドネシア）の分布で、2 種のみが東アジア（台湾および中国南部）に生息することが記録されている。本属各種の幼虫については、これまでに詳しい記載が行われていないため、幼虫による種の判定はできない。成虫の標本が必要である。そのため 8 月に再び宇治群島家島をたずね、本種の採集を行った。その結果、オス成虫 1 個体（写真 1 b）、幼虫約 10 個体、卵 2 卵鞘をあらたに採集することができた。この 1 個体のオス成虫（写真 1 b）の形態を精査したところ前翅にオレンジ色の斑紋があること、交尾器の第 3 右生殖鉤(third right phallomere)が長大なことなどから、ルリゴキブリ *E. yasumatsui* ではなく、近縁な未記載種と判断された。ただし、オス成虫は 1 個体しか採集できなかったため、残りの幼虫を飼育して羽化させた後、別稿にて個体変異を含めて成虫の全体像を記述したい。八重山諸島と本島は大きく隔離しており、今回の未記載種がルリゴキブリと別種であるとはいえ、この大きな隔離分布は、奇妙な現象と言える。今坂・海老原（1996）は奄美大島で、ルリゴキブリらしき種の幼虫を採集している。また、琉球大学資料館「風樹館」に沖縄本島の北谷町で採集されたルリゴキブリが所蔵されている（<http://fujukan.lib.u-ryukyu.ac.jp/ja/index.html>参照）。これらのことから、ルリゴキブリ属は南西諸島からトカラ列島を経由して、この宇治群島まで広く分布しているのかもしれない。南西諸島、トカラ列島のどの島にどちらの種が分布しているのか、2 種が共存する島があるのか、それぞれの種の南限、北限がどのような関係になっているか等が、今後の調査の課題となる。

2) 潜葉性ノメイガ類(ツトガ科)の発見

8 月 13-14 日の家島の調査時に環境省のレッドデータブック植物 I にも準絶滅危惧種として記載されているケナシツルモウリンカ *Tylophora tanakae* var. *glabrescens* の群落を見ることができた。ところが、このケナシツルモウリンカの多くの葉（加害葉の割合は 50%程度）には、鱗翅目のハモグリムシが潜り込み、葉をしおれさせていた。このケナシツルモウリンカに葉潜りしている蛾の幼虫を採集し、持ちかえって飼育したところツトガ科ノメイガ亜科小蛾の 1 種 *Chabula* sp. が羽化してきた。本属の蛾はこれまで寄主植物不明だった。さらにこのツトガ科ノメイガ亜科では、これまで幼虫が葉潜りする種が知られておらず、寄主植物が新記録だけでなく「潜葉性」という習性自体がこのグループで新発見ということになった。

3)大量のコナガ *Plutella xylostella* (スガ科)飛来

5月の調査においてスガ科のコナガ *Plutella xylostella* (Linnaeus)が島中の至るところで、スイーピング(植物に向かって無作為に捕虫網を振る調査方法)を行うたびに数頭ずつ捕獲され、本調査期間中極めて高密度で成虫が生息していた。本種は汎世界的に分布する著名な害虫で、幼虫はアブラナ科植物にのみ依存し、鹿児島県本土では、ほぼ1年中見られるごくありふれた害虫である。これまでの宇治群島の昆虫相調査で捕獲されていないことがむしろ不思議なくらい普通に採れる種である。しかし、家島の過去の植物調査記録を紐解くと、アブラナ科植物は迫・丸野ら(1988)の調査でマメグンバイナズナ *Lepidium virginicum* Linnaeus が採取されているのみで、それ以前もその後もアブラナ科植物の記録は無い。したがって、寄主植物がないため、これまでの昆虫相調査ではコナガが採集されてこなかったものと思われる。実際8月の2回目の調査時には、コナガは1頭も採集できなかった。2回の調査を通して、島内でアブラナ科植物葉観察していない。このことから、5月に観察された大量のコナガは家島以外の土地で育ち、高密度で寄主植物のない家島に飛来したものと考えられる。コナガは熱帯原産といわれており寒さに弱いにもかかわらず、毎年春先から東北地方や北海道でも確認されており、片道切符の長距離移動をする昆虫と言われている。今回の調査においてコナガ達が長距離飛行をして寄主植物もないのに宇治群島で大量に成虫が発見されたことから、彼らは寄主植物を見つけてこの島に降り立ったのではなく、気象や気流条件などの物理的条件のみに支配されてこの島に降り立ったものと推測される。コナガの成虫寿命は野外よりも条件の良い飼育環境下でも1週間程度といわれている。したがって5月10日までの約1週間にコナガを宇治群島に降り立たせた気象要因があったはずである。この1週間の宇治群島の気象条件は不明であるが、比較的近距离にあり同じ海洋島である甞島の気象観測データ(気象庁発表)から推定すれば、5月5-6日の2日間に降雨があったものの比較的好天で、西風が卓越していたと考えられる。また、5月3-6日の4日間は平均気温が20℃を越え、コナガ成虫の活動に適した日があった。これらのことから、コナガは西方にある島々、あるいは大陸から飛来した可能性が予想される。ただし、調査5日前(5月5日)に1日だけ強い東風が卓越した日がある。この日は34mmの降雨が観測されているが、時間によっては降雨がなく鹿児島県本土の薩摩半島から家島にコナガが飛来できる気象条件があったかもしれない。

4)クロキシタアツバ *Hypena amica* (ヤガ科)によるニオウヤブマオの食い尽し

5月10日の調査時に、家島の港付近の平地部をイラクサ科のニオウヤブマオ *Boehmeria gigantea* Satake が青々と覆い尽くしていた（写真 2a）。しかし、8月13・14日に再上陸した再には、ニオウヤブマオの青々とした葉は、「風前の灯」と言うほどわずかに減少していた。ここまで、葉を減らした犯人は、わずかに残ったヤブマオの葉の上で、すぐに見付けることができた。大量のクロキシタアツバ *Hypena amica* の幼虫であった。一本一本のニオウヤブマオの茎の先には、穴だらけの葉数枚と新芽が残っているのだがここに、必ず3-4個体のクロキシタアツバ幼虫が取り付いており、バリバリむしゃむしゃと音が聞こえるほどに葉を食べているのである（写真 2b）。クロキシタアツバ自体は、ニオウヤブマオ以外にカラムシも食し、鹿児島県本土でも普通に見られる蛾であるが、寄主植物を一群落丸々枯らすような大発生を見ることはない。このような異常発生は本種だけではなかった。8月の調査では夜間に行った灯火採集用のランプ（20 ワット）に数百頭のウスコカクモンハマキ *Adoxophyes dubia* Yasuda 成虫が誘引された。これも大発生といえる。この種は近畿地方から南西諸島にかけて分布するが、鹿児島県本土以北においては、近縁で同様に常緑照葉樹を好む広食性のチャノコカクモンハマキ *A. honmai* Yasuda に置換されてしまい、滅多に採集されない。鹿児島県本土は、ウスコカクモンハマキとチャノコカクモンハマキが同時に採集される数少ない地域であるが、それでもウスコカクモンハマキはチャノコカクモンハマキの1割程度しか採集されない。一晩に数十頭と採れることはほとんどない。一方で、沖縄本島にまで下るとウスコカクモンハマキしか分布していないことが知られている。今回の調査で宇治群島家島はウスコカクモンハマキだけであることが判明した。このことは、ウスコカクモンハマキにとって宇治群島家島は地理的な距離こそ鹿児島県本土に極めて近いものの、気候や寄主植物等の条件はむしろ沖縄などに近いことを示しているのかもしれない。また、クロキシタアツバとウスコカクモンハマキの大発生事例から、この島の生態系が比較的単純でこのような大発生が起りやすい環境であることを示していると推定される。ただし、単純な生態系での大発生は資源の枯渇を導くため、長く続くことはなくせいぜい数年で収束に向かうと言われている。したがって、島嶼部における昆虫の大発生や北上の事例などを気候変動などの指標とする場合には、数年間にまたがる継続的な調査が必要となる。

昆虫相から見た宇治群島の位置付け

寄主植物がないにもかかわらずコナガ成虫が大量飛来していたことは、この害虫の移動経路の中継地点として、宇治群島が利用されていたことを示唆している。

もちろん、5月調査時に寄主植物がない宇治群島に降りた虫たちはそのまま島から飛び立つことができずに死んだ可能性も否定できない。いずれにせよ、時間的に連続した追加調査か、あるいは地理的に連続した追加調査が望まれる。同様に、クロキシタアツバとウスコカクモンハマキの大発生の時間的連続性や地理的連続性についても調べることで、今回の現象が一過性のものか、気候変動などによる分布拡大の現れなのかなどの判断ができるものと思われる。また、ルリゴキブリ属未記載種の分布も現在の島の気候や人為的な環境への影響の程度を評価する指標になるのかもしれない。

引用文献

- 今坂正一・海老原円、1996. 奄美大島で採集した昆虫類. *Korasana* 64: 1-39.
- 江平憲治、1994. 宇治群島の自然・昆虫. 鹿児島県立博物館『鹿児島県の自然調査事業報告書南薩の自然』: 112-113.
- 大原昌宏、1984. 宇治群島・向島で採集した蝶類. *SATSUMA* 33(91): 71-72.
- 大原昌宏、1985. 宇治群島向島の甲虫記録. *SATSUMA* 34(93): 10.
- 迫静男・丸野勝敏、他、1988. 宇治群島の植物相. 鹿児島大学農学部演習林報告. 16: 83-105.
- 中峯浩司 2004. 宇治群島 2003 年 7 月の昆虫[宇治群島家島の自然調査概要報告(その 3)]. 鹿児島県立博物館研究報告 23: 6-11.
- 廣森敏昭、2002. 2001 年 11 月宇治群島の昆虫[宇治群島家島の自然調査概要報告]. 鹿児島県立博物館研究報告 21: 14-18.
- 廣森敏昭、2003. 宇治群島 2002 年 4 月、9 月、10 月の昆虫[宇治群島家島の自然調査概要報告(その 2)]. 鹿児島県立博物館研究報告 22: 19-37.
- 福田晴夫、2002. 桧物正美氏の調査による宇治群島の蝶類. *SATSUMA* 52(126): 102-112.

Appendix 1

宇治群島家島、昆虫採集リスト(2005 年 5 月 10 日および 8 月 13-14 日)

宇治群島家島、昆虫採集リスト(2005年5月10日および8月13-14日)

目	科	和名	学名	採集日	頭数	備考
ゴキブリ目	ゴキブリ科	ウルシゴキブリ*	<i>Periplaneta japanna</i> Asahina	13-14. 2005	Viii. 4	
	マダラゴキブリ科	サツマゴキブリ	<i>Opisthoplatia orientalis</i> (Burmeister)	10. v. 2005	5	幼虫含む
				13-14. 2005	Viii. 4	幼虫含む
	マルゴキブリ科	ヒメマルゴキブリ*	<i>Trichoblatta pygmaea</i> (Shiraki)	13-14. 2005	Viii. 2	
	ムカシゴキブリ科	ルリゴキブリ属の1種*	<i>Eucorydia</i> sp.	10. v. 2005	2	幼虫

				13-14. VIII. 2005	11	うち1頭のみ成虫
鱗翅目	アゲハチョウ科	アオスジアゲハ	<i>Graphium sarpedon nipponum</i> (Fruhstorfer)	13-14. VIII. 2005	1	
(チョウ類)	シジミチョウ科	アマミウラナシジミ	<i>Nacaduba kurava septentrionalis</i> Shirozu	13-14. VIII. 2005	2	
		ヤマトシジミ	<i>Pseudozizeeria maha argia</i> (Ménétrières)	13-14. VIII. 2005	6	
	シロチョウ科	キチョウ	<i>Eurema hecabe hecabe</i> (Linnaeus)	13-14. VIII. 2005	1	
	タテハチョウ科	アカタテハ	<i>Venessa indica indica</i> (Herbst)	10. v. 2005	2	ニオウヤブマオ上に幼虫
				13-14. VIII. 2005	1	
		イシガケチョウ*	<i>Cyrestis thyodamas mabella</i> Fruhstorfer	13-14. VIII. 2005	1	
		ルリタテハ	<i>Kaniska canace no-japonicum</i> (von Siebold)	13-14. VIII. 2005	2	
	テングチョウ科	テングチョウ*	<i>Libythea celtis celtoides</i> Fruhstorfer	13-14. VIII. 2005	2	
	マダラチョウ科	アサギマダラ	<i>Parantica sita</i> (Kollar).	10. v. 2005	1	キジョラン上に幼虫
鱗翅目	チビガ科	<i>Buccatrix</i> 属の一種*	<i>Buccatrix</i> sp.	13-14. VIII. 2005	2	
(蛾類)	ハマキガ科	アカオビホソハマキ*	<i>Eupoecilia kobeani</i> Razowski	13-14. VIII. 2005	3	
		アシブトヒメハマキ	<i>Cryptophlebia ombrodelta</i> (Lower)	13-14. VIII. 2005	1	
		イグサヒメハマキ*	<i>Bactra furfurana</i> (Haworth)	13-14. VIII. 2005	3	
		ウスコカクモンハマキ	<i>Adoxophyes dubia</i> Yasuda	10. v. 2005	5	ニオウヤブマオ、ハスノハカズラ、モクダチバナ等から羽化
				13-14. VIII. 2005	11	
		ウスシロモンヒメハマキ*	<i>Notocelia autolitha</i> (Meyrick)	13-14. VIII. 2005	1	
		オオセンダンヒメハマキ*	<i>Dudua aprobola</i> (Meyrick)	13-14. VIII. 2005	2	
		コホソハマキ*	<i>Gynnidomorpha vectisana</i> (Humphreys & Westwood)	13-14. VIII. 2005	1	
		ホソバチビヒメハマキ*	<i>Lobesia aeolopa</i> Meyrick	13-14. VIII. 2005	2	
		<i>Olethreutes</i> 属の一種	<i>Olethreutes</i> sp.	13-14. VIII. 2005	2	
	ハモグリガ科	ハマヒサカキハモグリガ*	<i>Lyonetia meridiana</i> Kuroko	13-14. VIII. 2005	3	分布：四国、九州、屋久島；
	ホソガ科	<i>Phodoryctis</i> 属の1種*	<i>Phodoryctis stephaniae</i> Kumata & Kuroko	10. v. 2005	3	ハスノハカズラより羽化
				13-14. VIII. 2005	6	分布：本州、四国、屋久島；台湾
	コハモグリガ科	<i>Phyrocnistis</i> 属の1種*	<i>Phyrocnistis</i> sp.	10. v. 2005	1	モクダチバナより羽化
	スガ科	コナガ*	<i>Plutella xylostella</i> (Linnaeus)	10. v. 2005	3	
		ホソバコスガ*	<i>Xyrosaris lichneuta</i> Meyrick	13-14. VIII. 2005	1	
	スカシバガ科	ムラサキスカシバ*	<i>Nakona purpurea</i> (Yano)	10. v. 2005	1	エビヅル茎の虫エイより羽化
	マルハキバガ科	ミツボシキバガ*	<i>Autosticha modicella</i> (Christoph)	13-14. VIII. 2005	3	南限か？
	ヒゲナガキバガ科	キベリハイヒゲナガキバガ*	<i>Homaloxestis myeloxesta</i> Meyrick	10. v. 2005	5	
	ニセマイコガ科	<i>Stathmopoda</i> 属の1種*	<i>Stathmopoda</i> sp.	10. v. 2005	1	
				13-14. VIII. 2005	1	
		キイロマイコガ*	<i>Stathmopoda auriferella</i> (Walker)	13-14. VIII. 2005	2	
	ネマルハキバガ科	<i>Blastobasis</i> 属の一種*	<i>Blastobasis</i> sp.	13-14. VIII. 2005	1	<i>B. parki</i> に類似する
	カザリバガ科	ウスイロカザリバ*	<i>Cosmopterix victor</i> Stringer	13-14. VIII. 2005	1	

		ギンスジトガリホソガ*	<i>Labdia niphosticta</i> (Meyrick)	13-14. 2005	Viii.	1	
	キバガ科	<i>Anarsia</i> 属の一種*	<i>Anarsia</i> sp.	13-14. 2005	Viii.	3	<i>A. bipinnata</i> や <i>A. patulella</i> に類似する
							未記載種の可能性あり
		<i>Aristotelia</i> 属の一種*	<i>Aristotelia</i> sp.	13-14. 2005	Viii.	2	<i>A. galeotis</i> に類似する
							未記載種の可能性あり
		サクラソウキバガ*	<i>Monochroa conspersella</i> (Herrich-Schäffer)	13-14. 2005	Viii.	1	九州初記録
		ツチイロキバガ*	<i>Dendrophilia neotaphronoma</i> Ponomarenko	13-14. 2005	Viii.	3	
		ヒヨドリジョウゴキバガ*	<i>Ergasiola ergasima</i> (Meyrick)	13-14. 2005	Viii.	1	
		マエモンハイキバガ*	<i>Anarsia protensa</i> Park	13-14. 2005	Viii.	3	
	マダガ科	アカジママダガ*	<i>Striglina cancellata</i> (Christoph)	13-14. 2005	Viii.	1	
	ツトガ科	ノメイガ亜科の一種	<i>Chabula</i> sp.	13-14. 2005	Viii.	6	ケナシツルモウリンカより羽化
		クワノメイガ*	<i>Glyphodes pyloalis</i> Walker	13-14. 2005	Viii.	1	
		シロエグリツトガ*	<i>Glaucocharis exsectella</i> (Christoph)	13-14. 2005	Viii.	1	
		シロオオメイガ	<i>Scirpophaga excerptalis</i> (Walker)	13-14. 2005	Viii.	5	
		ハイイロホソバノメイガ*	<i>Dolicharthria bruguieralis</i> (Duponchel)	13-14. 2005	Viii.	5	
		モンキクロノメイガ	<i>Herpetogramma luctuosale zelleri</i> (Bremer)	13-14. 2005	Viii.	1	
		モンキシロノメイガ	<i>Cirrhochrista brizoalis</i> (Walker)	10. v. 2005		6	ex イヌビワの実
	メイガ科	イノウエガリメイガ*	<i>Endotricha inoue</i> Yoshiyasu	13-14. 2005	Viii.	3	
		ウスオビトガリメイガ	<i>Endotricha consocia</i> (Butler)	13-14. 2005	Viii.	3	
		トサカフトメイガ*	<i>Locastra muscosalis</i> (Walker)	13-14. 2005	Viii.	2	
	シャクガ科	クロモンオエダシヤク*	<i>Oxymacaria temeraria</i> (Swinhoe)	13-14. 2005	Viii.	2	
		サザナミシロアオシヤク	<i>Thalassodes immissarius intaminatus</i> Inoue	13-14. 2005	Viii.	2	九州以南の分布、宮崎県準絶滅危惧種
		ミスジハイイロヒメシヤク*	<i>Scopula cineraria</i> (Leech)	13-14. 2005	Viii.	6	
		ヨツモンマエシロアオシヤク	<i>Comibaena procumbaria</i> (Pryer)	13-14. 2005	Viii.	2	
	スズメガ科	コスズメ*	<i>Theretra japonica</i> (Boisduval)	13-14. 2005	Viii.	2	
		ホシホウジャク	<i>Macroglossum pyrrhosticta</i> Butler	13-14. 2005	Viii.	1	
	ドクガ科	ゴマフリドクガ	<i>Somena pulvere</i> (Leech)	13-14. 2005	Viii.	1	
	ヤガ科	キマエコノハ	<i>Eudocima salamina</i> (Cramer)	13-14. 2005	Viii.	1	
		クロキシタアツバ	<i>Hypena amica</i> (Butler)	13-14. 2005	Viii.	2	ex ニオウヤブマオ
				10. v. 2005		3	ex ニオウヤブマオ
		ハマオモトヨトウ	<i>Brithys crini crini</i> (Fabricius)	13-14. 2005	Viii.	3	
		ヒメアケビコノハ*	<i>Eudocima phalonia</i> (Linnaeus)	13-14. 2005	Viii.	1	
		ヒメゴマフコヤガ	<i>Metaemene atriguttata maculata</i> (Leech)	13-14. 2005	Viii.	1	屋久島以南の分布、宮崎では絶滅危惧種
		マダラエグリバ*	<i>Plusiodonta casta</i> (Butler)	13-14. 2005	Viii.	3	
		フクラスズメ*	<i>Arcte coerula</i> (Guenée)	13-14. 2005	Viii.	1	
鞘翅目	オサムシ科	アトモンアオゴミムシ*	<i>Chlaenius bioculatus</i> Chaudoir	13-14. 2005	Viii.	1	
		オオナガゴミムシ*	<i>Pterosrichus fortis</i> Morawitz	13-14. 2005	Viii.	1	
		キボシアトキリゴミムシ*	<i>Anomotarus stigmula</i> (Chaudoir)	13-14. 2005	Viii.	1	ライトトラップに飛来

	オトシブミ科	キアシホソチョッキリ*	<i>Eugnamptus glevipus</i> Sharp	13-14. 2005	Viii.	1	
		チャイロケシツブチョッキリ*	<i>Auletobius fumigatus</i> (Roelofs)	13-14. 2005	Viii.	1	
	カミキリムシ科	アトモンチビカミキリ*	<i>Sybra baculina nipponensis</i> Hayashi	13-14. 2005	Viii.	1	ライトトラップに飛来
		オビレカミキリ*	<i>Euseboides matsudai</i> Gressitt	13-14. 2005	Viii.	1	ライトトラップに飛来
		キボシカミキリ	<i>Psacotha hilaris</i> (Pascoe)	13-14. 2005	Viii.	4	伐採木上、ライトトラップ*
		コゲチャサビカミキリ	<i>Mimectatina meridiana</i> (Matsushita)	13-14. 2005	Viii.	3	夜間、伐採木を歩行
		チャイロヒメカミキリ*	<i>Ceresium simile</i> Gahan	13-14. 2005	Viii.	8	ハナトラップに飛来
		ニセビロウドカミキリ	<i>Acalolepta sejuncta</i> (Bates)	13-14. 2005	Viii.	2	夜間、立ち枯を歩行
		ヨツズジトラカミキリ	<i>Chlorophorus quinquefasciatus</i> (Castelnau et Gory)	13-14. 2005	Viii.	4	飛翔中に採集
		リュウキュウヒメカミキリ*	<i>Ceresium fuscum</i> Matsumura et Matsushita	13-14. 2005	Viii.	2	ライトトラップに飛来
		ワモンサビカミキリ	<i>Pterolophia annulata</i> (Chevrolat)	13-14. 2005	Viii.	10	夜間、伐採木を歩行
	カミキリモドキ科	ズグロカミキリモドキ*	<i>Eobia ambusta</i> Lewis	13-14. 2005	Viii.	1	ライトトラップに飛来
		ハイイロカミキリモドキ*	<i>Eobia cinereipennis</i> (Motschulsky)	13-14. 2005	Viii.	4	ライトトラップに飛来
	クワガタムシ科	マメクワガタ	<i>Figulus punctatus</i> Waterhouse	13-14. 2005	Viii.	10	
	コガネムシ科	シロテンハナムグリ	<i>Protaetia orientalis</i> (Gory et Perchelon)	13-14. 2005	Viii.	22	ハナトラップに飛来
		フタスジカンショコガネ	<i>Apogonia bicarinata</i> Lewis	13-14. 2005	Viii.	12	
		アオドウガネ	<i>Anomala albopilosa albopilosa</i> (Hope)	13-14. 2005	Viii.	3	
	ゴミムシダマシ科	ハネナシセスジキマワリ	<i>Strongylium marseuli</i> Lewis	13-14. 2005	Viii.	7	
	コメツキムシ科	クシコメツキ	<i>Melanotus legatus</i> Candeze	13-14. 2005	Viii.	3	ライトトラップに飛来
		マダラチビコメツキ*	<i>Aeolodema agnata</i> (Candeze)	13-14. 2005	Viii.	1	
	ゾウムシ科	ヒサゴクチカクシゾウムシ*	<i>Simulatacallus simulator</i> (Roelofs)	13-14. 2005	Viii.	1	夜間、立ち枯れ上を歩行
	テントウムシ科	オオフタホシテントウ	<i>Lemnia biplagiata</i> (Swartz)	13-14. 2005	Viii.	1	ライトトラップに飛来
	ハムシ科	キイロクワハムシ*	<i>Momolepta pallidula</i> (Bary)	13-14. 2005	Viii.	5	ライトトラップに飛来
		ルイスコトビハムシ*	<i>Manobia lewisi</i> Jacoby	13-14. 2005	Viii.	3	
	ハンミョウ科	シロヘリハンミョウ*	<i>Cicindela yuasai</i> Nakane	13-14. 2005	Viii.	7	

*...宇治群島家島新記録種

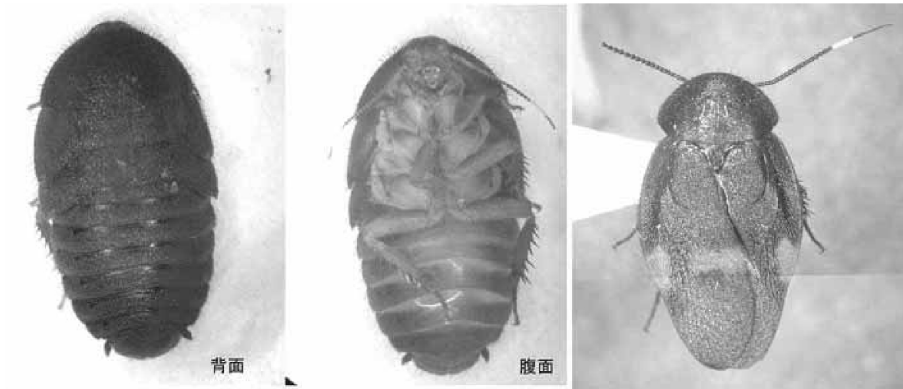


写真 1 宇治群島家島で採集したルリゴキブリ属の 1 種 a: 幼虫、b: 成虫

Photo1. A cockroach, *Eucorydia* sp. collected at Uji Islands. a: larva, b: adult



写真 2 宇治群島家島小浦の港周辺のニオウヤブマオとそれを加害するクロキシタアツバ a: 2005 年 5 月 10 日撮影、b: 2005 年 8 月 14 日撮影(クロキシタアツバ幼虫に激しく加害された葉)

Photo2. Leaves of *Boehmeria gigantea* Satake at Uji Islands in May (a) and in August (b). Larvae of a noctuid moths, *Hypena amica* (Butler), heavily damaged them in August.